

第10回愛マップ・プロジェクト

平成27年2月15日(日) 午前10時～午後12時
小牧中学校 多目的室

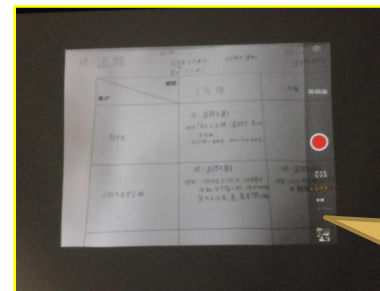
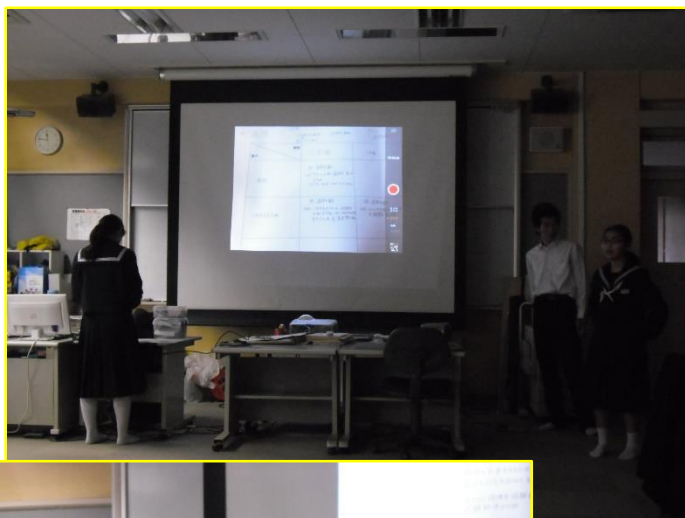
前回(第9回)のおさらい(1)

- 「まち歩き」で調べた情報を、愛マップシステムに入力



前回(第9回)のおさらい(2)

- 「まち歩き」で見つけた問題の解決方法を話し合い、発表



発表には
iPad miniが
大活躍！

見つけた問題の確認

- 重大で、解決に時間かかる問題
 - 狭い道路(A-12)
 - 消火栓(B-6)
- 重大で、解決に時間がかからない問題
 - ブロック塀(A-5)

取り組むことに決定した3つの問題を確認

前回考えた問題解決のための方法のまとめも確認

問題解決方法のまとめ(1)

問題解決シート(20141220)まとめ

大人チーム A-5 ブロック塀

誰が	期間	1ヶ月後	3ヶ月後	5年後
愛マップメンバー		①持ち主を特定する 修理の交渉をするために聞き込み 周辺の住宅を訪ねて教えてもらう ②持ち主に修理の依頼をする 問題解決のため	①看板などの掲示物を作る 危険を知らせるため ②掲示箇所を決める 許可が必要か調べて許可してもらう	
持ち主			掲示物を貼ることを許可する	ブロック塀の補修を行う
駐車場利用者			危険箇所を避けて車を駐車する	

消火器・消火栓

誰が	期間	1ヶ月後	～半年後	さらに3ヶ月後・・・(くらい)
愛マップ活動をしている人たち		①ホースの口のそうじ 理由:災害のときに、水が出やすいようにするため。		つくった倉庫を設置 理由:つくったものは活用しよう
牧中の生徒 (技術の得意な人と先生)			消火栓入れの倉庫をつくる。 理由:ドアが開け閉めしづらいから、あけやすいものにかえる	
市役所		①倉庫作りの資金をもらう 理由:市の人に状態を知ってもらい、協力してもらう。		ブロック塀の補修を行う
点検の人		点検のするとき、いっしょにそうじをしてもらう 理由:いつでもつかえるように	1ヶ月ごとに	→

問題解決方法のまとめ(2)

狭い道路

誰が	期間	1年後	2年後	2年半	4年後
牧中生		狭い道路を探す 理由: ①全ての狭い道路を見つけるため ②近所であれば、詳しく分かるから			
小牧市全中学校		狭い道路を探す 理由:小牧中生だけだと小牧市を把握できないから。他の地区の人にも、意見を聞くため。	狭い道路を探す 理由:ほかの中学校の事情があるため、期間を長くする		
愛マップ				データをまとめる 理由:集めた情報を1つにまとめる	
小牧市			データをわたす 理由:道路のかんかつは小牧市だから。 グループ① お願いする		道路をいじってもら 理由:(期間)長めにするため。 グループ① 場にあった対策をしてもらう

みんなで考えた問題解決の方法をもとに、「いつ」「だれが」「どのような活動をすればよいか」の役割分担を考えてみよう。

問題解決のために

□ 来年度の活動計画を考える(案)

2015年度 活動計画							
	活動内容	愛マップメンバー	OB・OG	小牧中の先生方	小牧中PTA役員の方	愛マップサポーター	関西大学
3月	活動内容を紹介する資料を作る	・活動内容を説明するための資料を作る					
4月	活動を引き継ぐ				・新役員さんをお願いする		
5月上旬	新メンバーを集める	・全校集会で活動紹介をする		・平日の活動日を設定するかどうかを検討する			・全校集会で活動紹介をする
5月上旬	新メンバーを集める			・委員会方式にするかどうかを検討する			・全校集会で1年間(長期間)の活動予定を知らせる
5月下旬	愛マッププロジェクトの紹介をする	・愛マップシステムをつかって危険な場所の説明をする				・今後の日程とその内容の説明をする	・愛マップシステムの紹介をする
5月下旬	愛マッププロジェクトの紹介をする	・これまででどういう問題を発見しているのか(問題の評価結果)を説明する					
5月下旬	愛マッププロジェクトの紹介をする	・分担を決める					・どんな分担があるのかを説明する
5月中	区長さんに協力を依頼する			・6月の区長会への参加の許可をお願いする			
6月	区長さんに協力を依頼する	・地域での活動をするために区長さんに活動内容を説明する		・地域での活動をするために区長さんに活動内容を説明する			・地域での活動をするために区長さんに活動内容を説明する

第10回 活動のまとめ



【次回のお知らせ】
3/21(土)
10:30~12:30
多目的室

今年度最後の活動に
なります。
皆さんの参加を
待っています！

大人も子どもも先生も、みんなで来年度の活動計画について考えました。
どうしたら生徒の参加が増えるのか、よいアイデアがあったら、
ぜひお知らせください